



令和7年度 市立大町山岳博物館 企画展

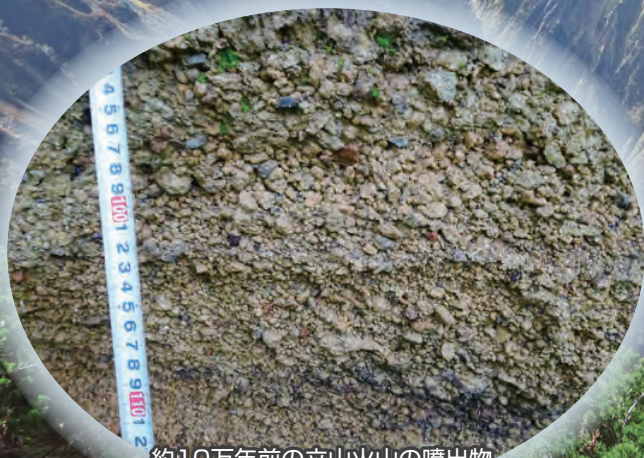


大町にも 火山灰が降った?!

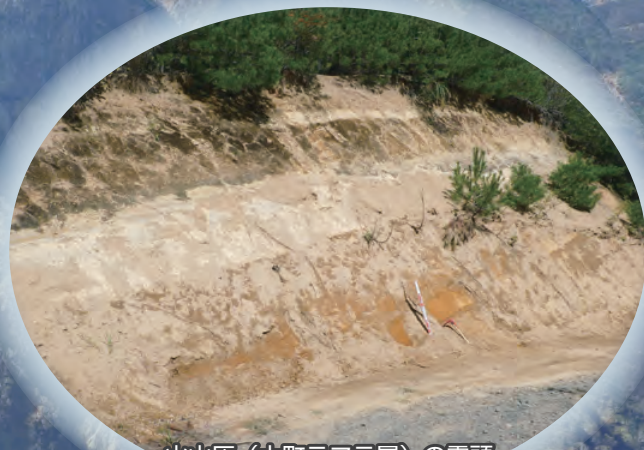
大町にも大量の火山灰が降り積もった時代があったことをご存じですか？

その火山灰は、どこからやってきたのか・・・

その謎にせまります！



約10万年前の立山火山の噴出物
〔中山高原〕



火山灰（大町テフラ層）の露頭
〔中山高原〕

会 期

2025(令和7)年

9月13日(土)～

12月7日(日)

立山室堂山から五色ヶ原方面を臨む（大町に降った火山灰の噴出源付近）

開館時間

9～11月 午前9時～午後5時（入場は午後4時30分まで）

12月 午前10時～午後4時（入場は午後3時30分まで）

休館日：9月16日(火)・24日(水)・29日(月)・10月6日(月)・14日(火)・20日(月)・27日(月)
11月4日(火)・10日(月)・17日(月)・25日(火)・12月1日(月)

会 場

市立 大町山岳博物館 特別展示室

観 覧 料

大人450円 高校生350円 小・中学生200円

※常設展示と共通、30名様以上の団体は各50円割引 その他の各種割引については窓口でお問い合わせください

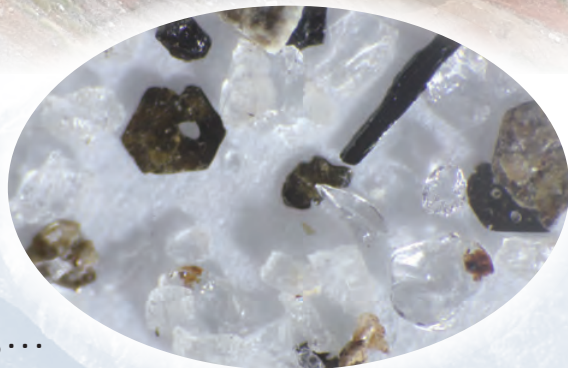
主 催

市立大町山岳博物館



令和7年度 市立大町山岳博物館 企画展

大町にも 火山灰が降った?!



火山と聞くと、どのようなイメージをお持ちでしょうか？

噴火する、黒い噴煙が立ち上る、溶岩が流れ出す、火山灰が降り積もる・・・

大町市の平野部は東西を山々に囲まれています。西側は標高3,000m前後の北アルプスが南北に連なりそびえ立っています。東側は標高1,000m前後の小高い山々（東山と言います）がこれも南北方向に連なっています。

では、これらの山々は現在は火山でしょうか？北アルプスを構成する山の一部には活動中の火山もありますが、それ以外はほとんど火山ではありません。現在は、まったく“火の気”がない山でも百数十万年～数万年前に火山活動が活発だった時期があります。これらの山々から噴出した火砕流や火山灰は、山体周辺のみならず現在の大町市周辺にも到達しました。その証拠を至る所で観察することができます。

この企画展では、おもに大町市中山高原で見られる火山灰層（大町テフラ層といいます）について紹介します。当時降った火山灰が現在はどのような状態となって残っているのか、火山灰の中身は何からできているのか、それらを調べることでどのような意味があるのかを知っていただきたく、企画しました。大昔に大量に降り注いだ火山灰に直接触れていただき、火山に関する興味関心を深めていただければ幸いです。皆様のご来館をお待ち申し上げます。

関連事業

● 展示解説

期 日 9月20日（土）・11月15日（土）・12月6日（土）

時 間 10：00～・14：00～（各20分）

会 場 山岳博物館 特別展示室

※通常の観覧料が必要です。午前と午後は同じ内容です。

● 現地見学会

期 日 10月18日（土）

時 間 10：00～11：30 会 場 中山高原（現地集合・解散）

定 員 小学生以上20名 参加無料

服 装 汚れてもよい服装（雨天中止）

申し込み Eメール・FAX・電話、または直接当館へお申し込みください。お申し込みの際には、お名前・ご住所・ご連絡先電話番号をお知らせください。

● 室内講習会

期 日 11月22日（土）

時 間 10：00～正午 会 場 山岳博物館 講堂

定 員 20名 参加無料

申し込み Eメール・FAX・電話、または直接当館へお申し込みください。お申し込みの際には、お名前・ご住所・ご連絡先電話番号をお知らせください。



交通のご案内

JR大糸線・信濃大町駅から
タクシー5分 徒歩25分
長野自動車道 安曇野ICから 約40分
北陸自動車道 糸魚川ICから 約95分
上信越自動車道 長野ICから 約80分